

普及活動情勢報告（令和6年月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

「ぶしゅかん」の作期拡大に向けて！

～四万十ぶしゅかん生産組合～



4月22日、四万十農園めぐりっこ研修センターで「ぶしゅかん」の定植方法について講習会を開催し、四万十市役所を中心に関係機関7名が参加しました。

農業改良普及課からは、苗木の植え方、病虫害防除、肥培管理の留意点を説明し、施設栽培にかかる情報提供を行いました。参加者からは、「苗木の植え方が良くわかった」「かん水の量と頻度は？」「病虫害で注意する点は？」という声がありました。

今後も、ぶしゅかんの施設栽培実証試験について、日々の巡回等で情報提供を行い、栽培技術の向上に向けて支援していきます。

オクラの出荷事故防止のために

～JA大方支所後作オクラ生産者～



4月25日、JA大方支所選果場で後作オクラの目慣らし会が行われ、生産者8名と関係機関6名が参加しました。

目慣らし会では、JAから出荷事故の発生防止にむけ、収穫・出荷時における注意点について説明があり、生産者間で確認を行いました。

農業改良普及課からは、病気防除のための薬剤散布と園芸用ハウス等リノベーション事業について説明を行いました。

生産者からは、「みんな選果には気をつけている。今作は曇雨天日が多いため、薬剤散布などのタイミングが難しい」などの意見がありました。

今後も、オクラの出荷事故がないよう、現地巡回なども含め、支援を行っていきます。

組織間連携の強みを活かして

～中村地域営農協議会～



5月7日、四万十市役所で中村地域営農協議会が開催され、四万十市管内の各集落営農組織の代表者9名と関係機関6名が参加しました。

当協議会は集落営農組織の連携を目的に設立され、今年度は主食用米の共同出荷やドローンによる共同防除の検討を進めています。

農業改良普及課からは、共同出荷に向けた運営体制の提案やドローン防除に係る経費の試算等について情報提供しました。

参加者からは「組織間連携のスケールメリットを活かして各組織の経営安定を目指していきたい」など前向きな意見が出ました。

今後も関係機関と連携し、組織間連携に向けた支援に取り組んでいきます。

収量UPを目指して！

～JA西土佐米ナス部会現地検討会（施設）～



5月9日、西土佐米ナス部会（施設）の現地検討会が行われ、生産者9名と関係機関の職員7名が参加しました。

現地検討会では、全生産者のほ場13ヶ所を巡回し、各ほ場では生育状況の確認や今後の管理について意見をかわし、ベテラン生産者が若手生産者に対してアドバイスする場面が見られました。

農業改良普及課からは、「雨よけ栽培マニュアル」に基づいたかん水方法と、農薬の安全使用・適正保管・使用後の後片付けについて指導を行いました。

今後も、JA北幡営農センターと連携して、米ナスの生産振興に取り組んでいきます。

お米はどうやって作られる？

～具同小学校食農教育授業～



5月15日、具同小学校で、5年生約80名に対してお米づくりに関する授業が行われ、関係機関6名が参加しました。

四万十市役所からは「四万十農法米」について説明があり、農業改良普及課は稲の栽培方法・稲の害虫・高知県のお米の生産量などについて授業を行いました。児童たちは出題されたクイズを楽しみながら、熱心に授業を受けていました。児童からは「稲を育てるために工夫していることはないか」、「稲についてもっと知るにはどうすればよいか」などの質問がありました。

今後も田植え実習などを通して、子どもたちへの食農教育を推進します。

